

第1章 情報社会と私たち
1節 情報社会

情報の特性



実教出版 情 I 705
最新情報 I p6-p7

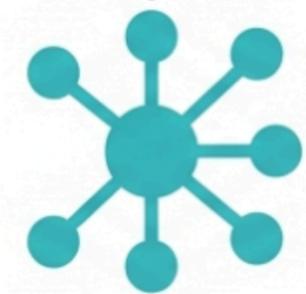
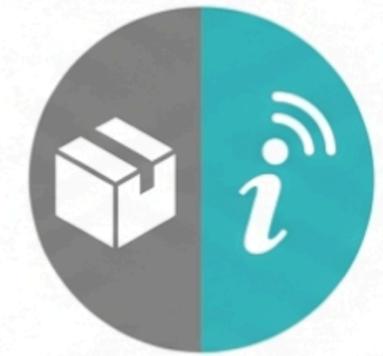
今回のゴール

「もの（物質）」と

「こと（情報）」の違いを理解して

「残存性」「複製性」「伝播性」を

マスターする！



1

残存性：情報は「人にあげても減らない」

- **残存性**：他者に渡しても自分の手元から消えず、**保存すれば消滅しない**性質。
 - 「**もの**」は渡すとなくなるが、情報はコピーされて相手と自分の両方に残る。
- **二面性**
 - **(+) データ (知識) の共有**
 - **(-) 消したい過去 (デジタルタトゥー)**

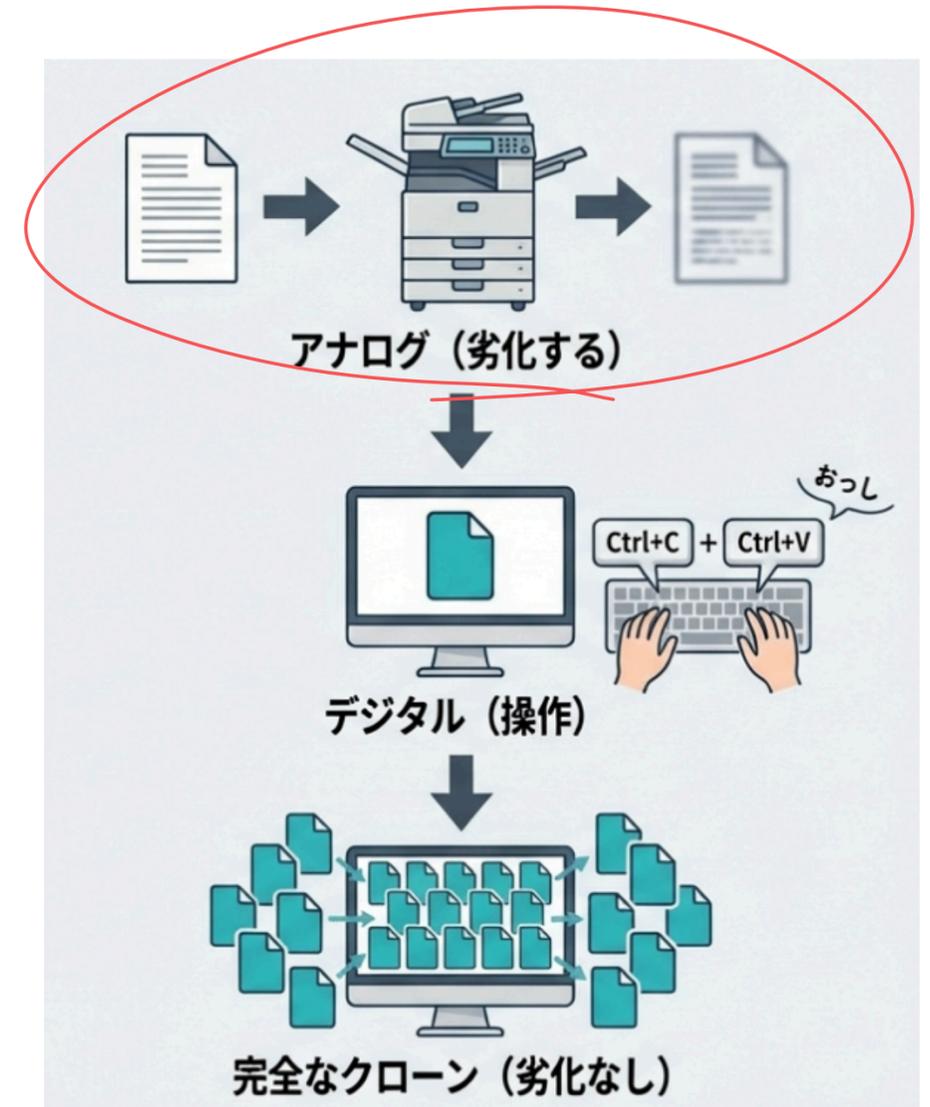


情報の特性は「**+**の武器」にも「**-**の凶器」にもなる

1

複製性：情報は「劣化せずにコピーしまくれる」

- **複製性**：デジタル化された情報は、短時間で劣化せずに大量に複製できる性質。
 - 音楽や画像など、何度複製しても劣化せずに品質を保てる。
- **二面性**
 - (+) 大量配布で周知できる
 - (-) 違法コピー（海賊版）



著作権や肖像権を侵害する違法コピーも容易にできてしまう

1

伝播性：情報は「一瞬で世界へ」

- **伝播性**：ネットワークなどを通じて、**短時間で広範囲に情報を発信できる性質**。
 - 個人でもボタン一つで、世界中に情報を拡散できるようになった。
- **二面性**
 - **(+) 緊急情報の速報（災害時）**
 - **(-) フェイクニュースの拡散**

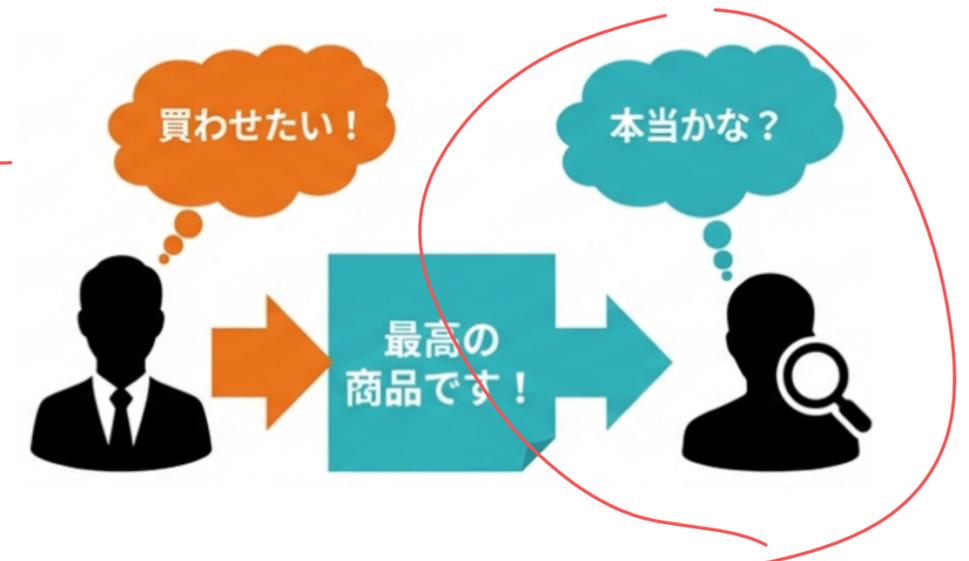


情報は「もの」と違い、減らない・コピーできる・すぐ広まる！

- **個別性**：情報の価値や評価は、受け取る人の状況や目的によって異なる性質。
 - 「誰にとっての情報か」で価値は決まる。



- **目的性**：情報には発信者の意図が込められており、受信者はそれを解釈する必要がある。
 - すべての情報には「誰かにこう思わせたい」という狙いがかくれている。



情報は「誰が、何のために発信したか」を見極める力が必要

今回のまとめ

- 情報は「もの」と違い、残存・複製・伝播する性質がある。
- 情報は、渡しても消滅しない（残存性）・劣化なしでコピー（複製性）・世界中へ拡散（伝播性）。
- 情報の価値は人によって違う（個別性）。
- 発信者の意図（目的性）を常に意識する。
- 特性を理解して、トラブルを避けつつ活用する。



君ならできます！

頑張って！